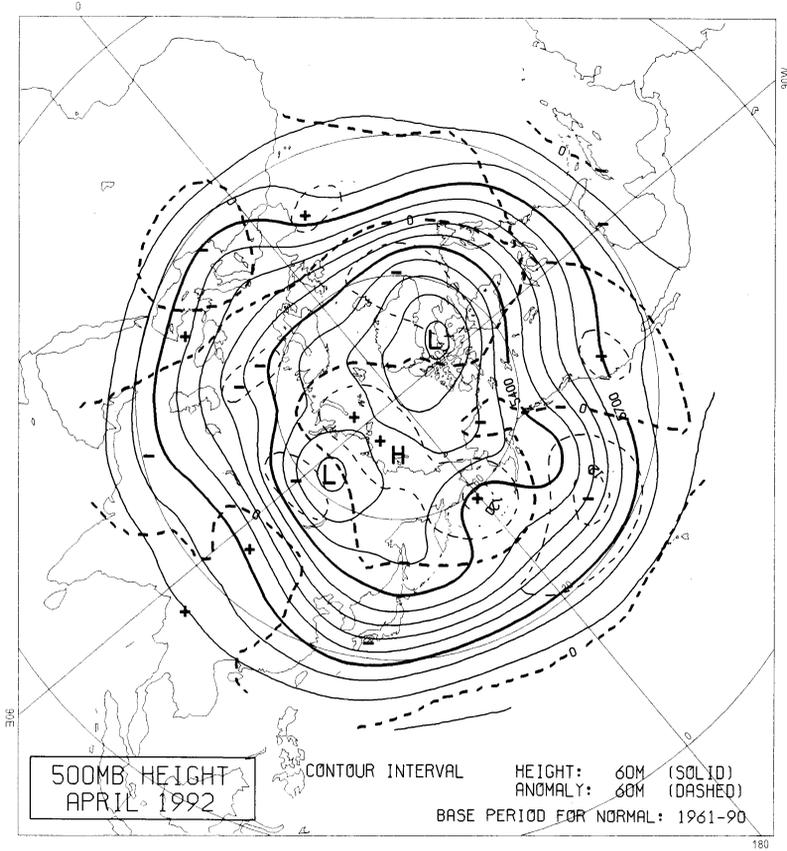


1992年 4月の大気大循環と世界の天候
月平均 500mb 天気図.



(破線は平年からの偏差。単位m)

表 1 1992年 4月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	9.6	0.0	0.0	21	59	—	カサブランカ	16.3	0.6	0.9	45	125	4
ベルリン	9.3	0.8	0.5	31	77	2	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	20.7	3.5	3.9	13	23	1
イスタンブール	12.4	0.9	0.6	26	55	1	バンクーバー	10.6	1.8	2.3	126	211	6
モスクワ	5.1	0.0	0.0	34	90	—	ニューオリンズ	19.1	-1.6	-1.3	64	55	2
オデッサ	7.9	-0.6	-0.4	14	41	1	セントルイス	14.3	0.9	0.6	63	70	2
ニューデリー	27.9	-1.0	-0.8	8	121	4	サンフランシスコ	15.9	3.2	2.9	6	16	1
カルカッタ	31.5	0.8	0.9	8	17	1	ニューヨーク	10.2	-0.8	-0.7	39	44	0
ボンベイ	27.6	-1.1	-2.2	0	0	4	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	21.9	-0.2	-0.2	492	353	6	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	8.2	1.5	1.1	25	116	3	ロサリオ	—	—	—	—	—	—
ベキン	15.5	2.3	2.1	11	57	2	ホノルル	24.2	0.4	0.5	3	7	1
シャンハイ	14.5	—	—	55	—	2	タヒチ	27.7	1.0	2.0	39	34	2
バンコク	31.1	0.8	1.3	0	0	—	ダーウィン	27.9	-0.3	-0.5	216	220	5
マニラ	29.5	0.6	1.0	68	459	5	キャンベラ	13.4	0.2	0.2	33	71	3

世界の天候

4月の月平均500mb高度天気図の特徴として、20°Nから70°Nまでの中高緯度帯が広く負偏差におおわれたことがあげられる。特に北太平洋の中緯度帯における負偏差が顕著で、この傾向は月を通して持続した。北太平洋の亜熱帯ジェットが、月を通して南に偏っていたことを示している。また、4月下旬には、北太平洋東部の負偏差、北アメリカ北西部での正偏差、北アメリカ南東部での負偏差というPNAパターンがあらわれたが、この偏差パターンの特徴は、月平均天気図でも見ることができる。

① シベリア西部の低温

1月から高温の続いていたシベリアでは西部、中部で一転して低温となった。シベリア東部から中国にかけては、気温は平年より高かった。

② アジア南部の高温少雨

アジア南部ではインド南東部、スリランカ、タイ、マレーシア、フィリピン南部にかけての広い範囲で高温少雨となった。インド南部、スリランカでは冬からの少雨傾向が続き、紅茶などの農作物や、社会生活にも大きな影響が出ている。ミャンマーやタイにかけても著しい少

雨であった。

③ アフリカ南部の高温

今世紀最悪の干ばつに見舞われていると伝えられるアフリカ南部では、南アフリカ北部からザンビアにかけて引続き高温少雨となった。

④ アメリカ合衆国西部・中部の高温少雨

アメリカ合衆国の西部と中部では、著しい高温で、また、少雨であった。4月の初めと下旬に強い寒気の入ったアメリカ合衆国東部は低温となった。

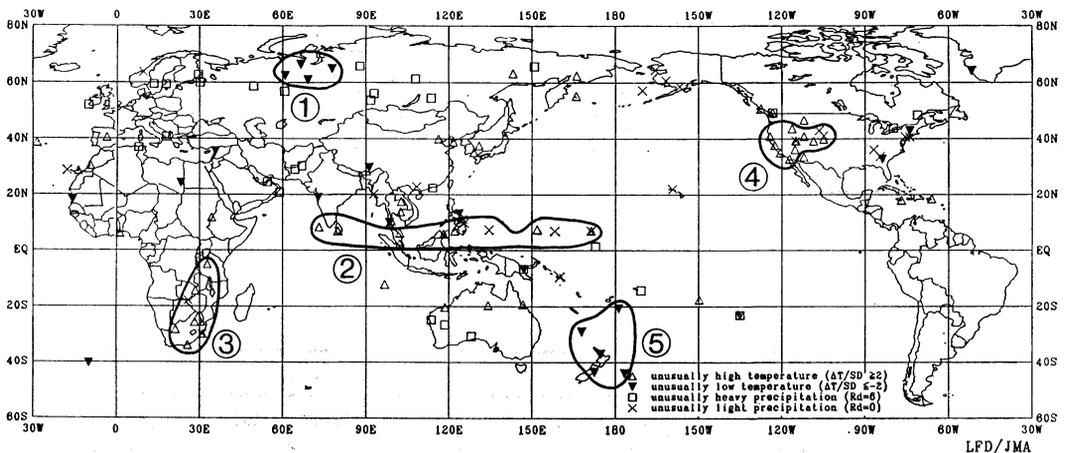
⑤ ニュージーランドの低温

4月の前半に寒気の入ったニュージーランドでは、低温となった。オークランドで月平均気温13.9°C(平年偏差-2.4°C)など。ミクロネシアでは少雨が続いた。

⑥ その他

4月の初めにはエクアドルに洪水が発生し、ペルー沿岸にもまとまった雨が降った。そのほか、アジア南部の少雨、アフリカ南部の少雨、ミクロネシアの少雨など、従来からエルニーニョ時に起こりやすいといわれている現象が各地で続いている。

(気象庁長期予報課 前田 修平)



1992年4月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1992年4月の気候表の説明。平均値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500mb高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。